

ウエディング企業最前線

働く女性を応援！ 東京に「南青山たんぽぽ保育園」開設

株式会社ハセガワエスティ

代表取締役会長 長谷川卓史氏

代表取締役社長 阿久津五代子氏

ウエディングプランナー、ヘアメイク、フラワーアレンジメント、司会など、女性たちが多く活躍しているウエディング業界。ところが結婚や出産を機に、積み重ねきた経験や技術を断念し、第一線から退いているケースが多い。この現状を打破し、いつまでも輝く女性たちであってほしいという思いから、ウエディング司会業を核とするハセガワエスティが立ち上った。



結婚・子育て機に余儀なく 一線から後退

年間1万組を超えるウエディング司会を展開するハセガワエスティ(東京都港区)は、働く女性を応援する企業として、東京に「南青山たんぽぽ保育園」を開設した。

保育園を始めた根本は“働く女性を応援する”ことにあった。特にウエディング業界は土日を中心のため、夫や家族の理解や支援がなければ、結婚や出産後に継続して勤めることが難しい職種だ。“本当は仕事を続けたいのに”と思っても、土日が休みの夫の場合、夫の休暇の時間を、家事や子育てに費やさせてしまうことになる。

また無理して働いても、どこかで夫や家族との不和が生じ、精神的に不健康な状態で仕事をしているケースもある。

「特にウエディング司会者は晴れ舞台である結婚式を支える重要な役目です。この役目をキチッと行なうためにも、家庭内やプライベートで精神的に悩みは禁物です。心身ともに健康な状態でなければ、ほんとうにお

客さまに喜ばれる司会はできません」(阿久津五代子社長)。

土日の夫の負担も軽減、 家庭円満が輝く源

そこで働く女性にとってネックとなる子育てを支援しよう! と、まずは事務所に保育所スペースを設けた。保育士の資格を持つ人材を起用し、子どもの安全も十分に考慮したものだ。また就学児も母親が司会で本番の間、事務所にて預かるなど、母親が安心して働ける環境を整えた。夫も休暇に子どもの面倒をみる負担もなくなる。

「旦那さまもお休みの時間、自由に使えることで日ごろのストレスも発散されずし、子どもたちもお母さんがそばにいる感じで、精神的に落ち着きます」(阿久津社長)。

そして自社の司会者だけではなく、働く女性に門戸を広げようと「南青山たんぽぽ保育園」を開設するに至ったわけだ。0歳児(生後3カ月～)～2歳児の保育や、0歳児(生後3カ月～)5歳児の一時的な預かりも行なっている。開園時間は7時～21時まで、

平日のみ、土日のみ、また平日と土日も合わせることも可能だ。

保育方針として「健康」「環境」「人間関係」「言語」「表現」を掲げ、絵本や紙芝居の視聴や、脳に正しい刺激を送り発達を促すリズム運動などを導入している。この他、英語DVDや園の花壇を利用した花や野菜の育成、記憶を呼び覚ますと考えられる音楽を意識的にかけたり、突発的なことにも対応できるよう、保育士資格者3名を起用している。

保育園のほか、働く女性を一層輝かせるための美容、コスメなどの輸入販売を行なう事業も行なっている。年齢とともに肌や髪などの衰えを感じさせないことも、40歳、50歳、生涯現役で働くために欠かせないことだからだ。

「働く女性たちを、これからも応援し続けていきます」(長谷川卓史氏)。